



学園通信

KOMAZAWA UNIVERSITY NEWS No. 325

駒澤大学学園通信第325号
[2017年1月15日発行]
発行所：駒澤大学
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
学園通信発行委員会事務局
TEL:03-3418-9828
FAX:03-3418-9017
<https://www.komazawa-u.ac.jp/>
テレフォンサービス
03-3418-9111/03-3418-9028



年頭にあたり

心々慶快に春面に笑う

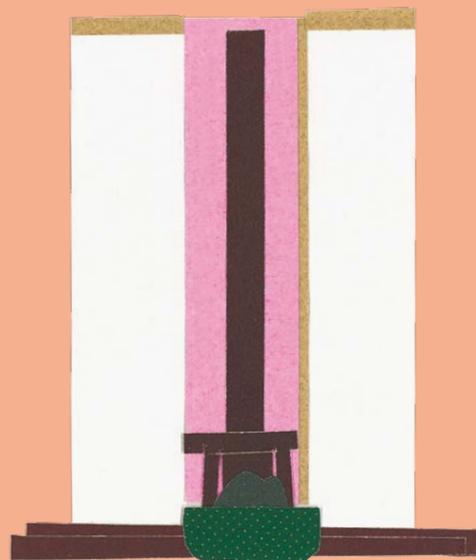
禪ブランディング研究と産学連携で世界発信

総長 池田 魯参

学長 廣瀬 良弘

Contents

- 産学連携による「放射線治療人材教育センター」を設立 ————— 3
- 在職中の思い出 ————— 4・5
- 就職活動体験記 ————— 6・7
- 新刊紹介 ————— 11
- サークル活動報告 ————— 15
- 広島東洋カープ 新井選手に栄誉賞授与 ————— 16
- 駅伝 陸上競技部 ————— 16



年頭にあたり

しんしんけいかい しゅんめん わら 心心慶快に春面に笑う

総長 池田 魯参



新年おめでとうございます。年頭にあたり学生諸兄姉、教員各位、職員諸氏にとって今年も嘉き歳となりますよう、心から祝祷申し上げます。

待ちに待った開校130周年記念棟第1期建設工事も、本年12月いっぱいまで完成する運びとなりました。地上9階建ての高層部と4階建ての低層部を一体化した総面積2万4千平米余りの壮麗な新校舎が出現することになります。キャンパスの風景は一変することでしょう。その間ご不自由をおかけすることになりますが、無事に大工事が円成しますよう、皆さまのご理解とご協力を改めてお願いします。

掲句は、道元禅師が永平寺の大衆に向かって、寛元4（1246）年の元旦に示された詩句です。

大吉の歳朝坐禅を喜ぶ／時に応じて祐を納む自ずから天然たり／心心慶快に春面に笑う／仏仏牛を牽いて眼前に入る／瑞を呈わし山を覆う尺に盈つる雪／人を釣り己を釣る釣漁の船（意識。元旦の朝の坐禅は爽やか／当然の如く時の恵みを受けて／どの人の心も慶快に春の到来に微笑んでいる／仏たちも牛を牽いて眼の前に現われる／山に積もった何尺ものめでたい新雪／人も自分も皆祖師の禅に堪能している）。

道元禅師は元旦も普段と変わらずお過しになられたのでしょう。それでも正月らしい清清しいお気持ちにいつわりはなく、こうして一山の大家と年賀を言祝がれたのです。一年の、一月の、一日の朝として元旦が特別な意味を持つように、私にとっては日常底の一日一日が、ひと時ひと時がどれほど大事か、思い知らされるこの頃です。

珍重

禅ブランディング研究と 産学連携で世界発信

学長 廣瀬 良弘



謹賀新年。皆さまには、穏やかに新春をお迎えのことと存じます。12月に、待望の開校130周年記念棟「種月館」のメイン棟が完成します。9階建一部4階建の最新の教場棟ですが、1階に大食堂「Kitchen駒膳〈教育後援会ホール〉」が入り、緑深い駒沢オリンピック公園を眼下に納める明るい建物です。

さて、本学は昨年11月、文科省平成28年度「私立大学研究ブランディング事業」タイプB（世界展開型）に『『禅と心』研究の学際的国際的拠点づくりとブランド化事業』を申請し、198大学中、40大学採択という狭き門を突破しました。不断に続けてきた禅（ZEN）研究を中心に各学部の関連分野を横断し、国内外の研究機関と連携を取り、その成果を5年間にわたる大規模な補助金を受けて、世界発信し、社会貢献、グローバル化・国際化を一気に推し進めます。

また、同じ11月、本法人は株式会社バリアンメディカルシステムズと放射線治療人材教育センター設立に関する産学連携事業の契約を取り交わしました。種月館にバリアン社の世界最先端の医療用直線加速器・リニアックを設置し、本学の医療健康科学部の学生の教育指導を行うとともに、日本の社会、あるいは東アジア、ひいては世界の放射線治療の人材育成を行うものであります。本学は人類の課題とも言うべき癌撲滅の闘いの最先端に関わることとなります。こうして本学は現在の大学に求められる産学連携・社会貢献・グローバル化を一気に推進していきます。二つの事業発足は全駒澤人の協力の賜です。「スポーツの駒澤」を維持しつつ、「研究の駒澤」も世界発信していきましょう。

一松語

法隆寺の玉虫厨子は、現存する最古の仏壇である。厨子の側面には「捨身飼虎」という釈尊の前世話が表現されている。釈尊の前世である薩埵太子が歩いていると、飢えた虎が自分の子どもを食べようとしているところに遭遇する。すかさず太子は身を投げ、虎の親子が飢えを満たすという場面が描かれている。身を施す太子の静謐な表情が印象的である◆昨今は日本の年間行事になりつつあるクリスマス。キリスト

も十字架に付けられ、自らの犠牲によって世の人々の罪を贖ったという◆ポーランドのクリスマスの風物詩は、バスタブに生きた鯉を泳がせるというもの。かの国ではクリスマスに鯉を食べるのだが、スーパーで買ってきた鯉はクリスマス当日に調理するまで家庭のお風呂で保存される。まさに生贄である。わが家の風呂場にも鯉の入った水槽がある。ポーランドでなくて良かったと、鯉は心から安堵しているだろう◆そうこうしているうちに西年の2017年が明けた。トリにちなん

で——何かに抜擢されることを「白羽の矢が立つ」というが、これも実は生贄となる人の家に立てられた矢のことである◆『平家物語』屋島の戦い「扇的」に「西の刻ばかり」という文言がみえる。西の刻とは日暮れの17時から19時までの2時間を指し、18時は正西という。「西」の本来の意味は酒壺である。今日の業を終えて酒を飲み騒ぐ時刻に、那須与一にまさに白羽の矢が立ち、源平が敵味方なく的当てに興じた◆さまざまに知識をトリこむ一年にしたい。

日本初

産学連携事業による「放射線治療人材教育センター」を設立

学校法人駒澤大学と株式会社バリアンメディカルシステムズが、日本で初めて、産学連携による「放射線治療人材教育センター」を設立します。同センターは、現在建設中の開校130周年記念棟「種月館」に設置されます。これに伴い、11月28日（月）に深沢キャンパスで調印式を執行了しました。

この産学連携事業は、癌治療3本柱の一つである「放射線治療の専門技術者の人材育成」のため、共同で高度な放射線治療の実施を支援する教育コースを提供するものです。

同センターでは、バリアン社のリニアック（医療用直線加速器）であるTrueBeam（TM）と、放射線治療計画システムEclipse（TM）、放射線治療データ管理システムARIA（R）の実機を利用します。学外の医療従事者に対しては、技術に関する知識やスキル向上を目的として、また本学医療健康科学部・医療健康科学研究科の学生・大学院生等に対しては、技術教育の高水準化をはかる取り組みとなります。

国内における癌罹患者数の増加に鑑みると、放射線治療を高い水準で実施できる熟練した医療従事者の数を増やすことは重要であり、このたびのバリアン社とのコラボレーションにより、人材をより多く育て、重要な技術の有効性を高める機会を持つことが期待できます。



須川法昭理事長とシロン・ミッチェル日本法人代表取締役

株式会社バリアンメディカルシステムズ

米カリフォルニア州パロアルトに本社を置く、放射線治療医療機器とソフトウェアのリーディングカンパニー。癌治療およびX線画像の先進テクノロジーを世界に提供することで、命を救うことに全力を挙げている。



バリアン社のリニアック TrueBeam

Copyright ©2007, Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.

研究こぼれ話

ユニコーンが現れた！

経営学部教授

小野瀬 拓



ベンチャー企業の分野では「ユニコーン」が注目されています。ユニコーンとは、株式市場に上場することなく10億ドル以上もの評価額をもった会社のことです。それぐらいの企業なら上場するものでした。だから数年前にはそんな上場しない企業は「存在するかどうかわからない」といわれていました。角の生えたユニコーンも「存在するかどうかわからない」幻の動物です。だからユニコーンと呼ばれたわけです。

最近、世界では評価額500億ドルとなったUberや同じく200億ドルとなったAirBnBなどのユニコーンが現れました。上場が一つのゴールどころか通過点でもなくなったかのようです。ベンチャー企業の地位向上、価値観の多様化、なども関係しているでしょう。

ところで、『日本ベンチャー学会会報』第75号のアレン・マイナー氏へのインタビュー記事には興味深い指摘があります。以下、私なりの乱暴な要約です。かつて企業をめぐる様々な問題がありました。そこで上場の規制を厳しくしたら、企業は上場しなくなりました。一方で投資銀行も、「失敗しそうな小さな会社」から「失敗しそうな大きな会社」に投資するようになりました。そんな出資を受けるような企業から見れば、面倒な上場をしなくてもお金は入ってくる状態になりました。こうしてユニコーンが現れた、というわけです。

現時点での事実やデータを見るだけではなく、その背景を見てみようとするだけで全く違った景色が浮かび上がります。その背景をどこまで分析できるかが、現時点での私の研究課題です。

放射線治療人材教育センター

医療健康科学部教授

保科 正夫



人類に投げかけられている難題である“がん”と私の関わりは、40年を超える。その中、私は放射線治療における線量評価と安全な治療のための管理を専門としてきた。現在、日本では“がん”によって毎年、約36万人の方々が亡くなられており、例えば、品川区の区民が忽然と消失しているとも云える。また、がん罹患者数が約86万人/年(2012年)であることを考え合わせると、一層気持ちが悪くなる思いである。

大病院を含めた一般的な病院で放射線治療に利用されている直線加速器(リニアック)が日本に導入されたのは1900年代中期、東京オリンピック当時であり、まだ、半世紀ほどの経験である。医療は“がん”に対して総合力(外科療法、化学療法、放射線療法)で、これに立ち向かってきたし、これからもそうであろう。しかし、欧米に比べ日本は放射線治療の活用が低迷している。2007年のデータによると、がん患者の放射線治療の適応は、米国66%、ドイツ60%、英国56%、一方、我が国では29%と有意に低い。対がん医療は総合力のどれ一つとして欠けてはならない。しかしながら、欧米に比して我が国における放射線療法の適用が進んでいない。要因の一つとして専門スタッフの数の不足が挙げられる。

駒澤大学で先般締結された産学連携プロジェクトである“放射線治療人材教育センター”は、学部、大学院の教育だけでなく、社会への開放による日本の放射線治療技術の底上げに繋げるプロジェクトである。駒澤大学の皆様のご理解を得ながら、このプロジェクトが少しでも先に進んでいくことを願っている。

在職中の思い出

過去から未来へ



仏教学部教授
永井 政之

東京五輪の翌年、昭和40年の入学から50余年の歳月が流れ、結局、人生の大半を本学で過ごしたことになる。その間、時代の変化を象徴する学園紛争のような出来事はあったが、仏教学部にはさまざまな意味で「学び

を大切にしようという雰囲気が常にあったように思う。個人的には大学院の時に関わった『禅学大辞典』編纂の作業が、今の私に繋がっていると痛感し、そんな機会をくださった諸先生に感謝している。

もっともそれは、学問を志しつつ一方では寺院という現場をあずかる「自己」に、さまざまな課題を突きつけ、それが生涯の公案として位置すること疑いない。

「若駒」の未来への羽搏き



文学部教授
高野 正夫

駒澤大学での日々を振り返ると、様々なことが思い出されます。熱く学生の皆さんを指導した若い頃の情熱。同僚の先生方と将来の展望について、真摯に語り合った日々。時間の経過と共に移りゆくものとそうでないも

の間で、大学での教育、研究を遂行できたのも、すべてお世話になった皆さまのおかげであるとの思いを強くいたします。開校百周年以降大学は発展を遂げてきましたが、現在建設中の130周年記念棟ができた暁には、更なる飛躍を遂げることでしょう。駒澤大学の古き良き伝統の中で、新たな「若駒」が未来に羽搏くことを願っています。

フィールドワークに明け暮れて



文学部教授
高木 正博

1973年4月に助手として就任。フィールドワーク（巡検）では、人文・自然分野を問わず先生の助手として随行できたことは、後の教育に役立った。毎年野外で行う巡検や調査実習は、事前準備と期間中の調査や現地と

の打合せ、学生の安全確保、報告書作成など気を遣うことばかりだが、学生とのミーティングは親密な語らいの場であり、心和む時間であった。また、全学的な会議などをとおして知り合った方々との交流により視野を広めることもできた。

最後に、お世話になった教職員の方々に感謝するとともに、今後の大学の発展を願います。

駒澤で過ごした貴重な日々



文学部教授
小野 浩一

私が就任した38年前は、心理学の研究教育は社会科学の中の心理学コースで行われていました。研究室や実験室も現在は公開緑地になっている第一研究館裏の竹友寮の一部にあり、学科となって躍進している今から思う

と隔世の感があります。

実験が研究の中核であった私が、本学の充実した実験施設で大学院生や学部生と思う存分、楽しく研究ができたことはとても恵まれたことだと感謝しております。また、先生方から研究のお話を伺ったり、職員の方々と一緒に仕事をさせていただいたりしたのも楽しい思い出です。ありがとうございました。

2017(平成29)年3月31日に定年退職される先生方に 在職中の思い出を語っていただきました。

お世話になりました



経済学部教授
山縣 弘志

面接の日、玉電に乗って駒沢交差点で下車しました。翌年からの通勤は渋谷からバス、1977年から電車通勤となりました。研究室は7号館の5階、その後第1研究館、第2研究館と変遷しました。キャンパスも学生も変わり

ましたが雰囲気は浮ついたところがなく駒大らしさを失っていないと思います。最も衝撃的な事件は学部長職2年目の巨額損失問題ですが、大学の存立基盤は進学してくれる学生諸君であり、事実以前と変わりなく志望して進学してくれた学生諸君のおかげで財政の立て直しは完了しました。駒大の社会的必要性を証明してくれた学生、ご家族の皆さんには感謝しきれません。

濃密な10年間を振り返る



グローバル・メディア・スタディーズ
学部教授
福家 秀紀

駒澤大学では、GMS学部設立の翌年から10年お世話になった。会社員時代はもとより、前任校とも異なる仕事の仕組みに戸惑うこともあったが、教員・職員の皆さまのご支援のおかげで、

学部長、GM研究科委員長の大役を務めることができた。学部長時代の大震災への対処からは、貴重な教訓を得ることができた。また、大学院の修士課程・博士課程の設置に責任者として取り組み、無事開設の運びに至ったことは、この上ない喜びである。さらにゼミ合宿、企業見学会、海外の大学との交流会等を通じて、若い学生の皆さんと過ごした時間も忘れ難いものである。

光陰矢のごとし



グローバル・メディア・スタディーズ
学部教授
モエ, リチャード A.

昭和50年に駒澤短期大学英文科の非常勤講師として駒澤大学とは深い縁ができ、その10年後には駒澤大学で初の外国人専任講師となり、多くの素晴らしい出逢いにも恵まれた41年間でした。

平成16年には大谷哲夫学長(当時)に新学部設立のご依頼をいただき、現在のGMS学部の英語プログラムを設計してOral Communication科目を担当し、自身の英会話指導経験全てを捧げた学部新設に参加できたことは今でも誇りです。駒澤大学の学生が飛躍的に英会話力を上達させ、多くの未来ある学生がグローバル社会で活躍されることを切に願っております。

御託宣ごたくせんによる指名



総合教育研究部教授
佐藤 憲昭

学生として11年、教員として41年、私は本学でお世話になり、良き師、良き同僚、良き職員の皆さまに恵まれて感謝している。30代の頃、全国学会の開催校事務局を複数担当した際には、大学院生の全面協力をいただいた。

40代以降は、韓国と台湾のシャーマニズム調査に従事し、貴重な体験をしたが、近年、修士課程の指導教授として私を指名した留学生の理由が、祖国のシャーマン(巫者)の御託宣によると告げられた時には、驚きと共にシャーマニズム研究の因縁を感じた。自由な研究ができた本学が、益々発展されることを心から願うものである。

上記の先生方とともに、法学部講師の佐藤多美夫先生も定年退職されます。

経営学部経営学科4年

黒澤 臨さん

内定先：東京急行電鉄株式会社



私の就職活動の軸は、1.人々の生活の一部に携わることができる、2.鉄道を通して地域の発展に貢献できる、という2点でした。意識したことは相手の目線に立って考えることです。特に面接の際、強くアピールすることは大切ですが、必死になるあまり一方的に話すことと独りよがりになりがちに陥るかもしれません。簡潔にゆっくりと聞き取りやすい声で話すのはもちろんのこと、企業がどのような人材を求めているかを自分なりに考えることも大事です。私は新卒採用HPだけではなく、新聞や中期経営計画などから直近の事業内容を読み込みました。この点を踏まえ、会社に入って取り組みたいことを具体的に話せたことが評価していただけた点だと思っています。

また就職活動では細かいことに気を配ることも重要です。スーツにシワがない、靴をピカピカに磨く。こういうところまで人事の方は見ています。

就職活動は辛いことも多いですが、必ず自分に合った企業があるので最後まで諦めずに頑張ってください。

私の必需品



日本経済新聞と音楽プレーヤーです。新聞は3年生の12月から毎日、企業面を中心に読みました。業界の最新情報を知ることが、周りの就活生との差別化を図りました。おかげで、受けた企業の集団面接は全て通過することができました。音楽プレーヤーは、好きな音楽を聴くことで心を休めていました。常に気を張っているのは疲れてしまうので、息抜きの時間も必要だと思います。

東京急行電鉄株式会社：東証一部上場。年間輸送人員11億人。東急沿線が「選ばれる沿線」であり続けるため、様々な施策を行っている。

GMS学部GM学科4年

吉見 晴香さん

内定先：株式会社みずほフィナンシャルグループ



私は就職活動の時期が近づいてきても、どのような職に就きたいかわからず、不安を感じていました。そのため早い時期から合同説明会や企業説明会、インターンシップなどに参加し、1つでも多くの業界や企業の話や話を聞くことから始めました。話を聞いて終わりではなく、どのように感じたかをメモに書き留めていました。

面接では、学生時代に力を入れて取り組んだことについて、自分の言葉で自信を持って話すようにしました。必要以上に気負わず、普段通りの自分で、笑顔で受け答えすることで、短い面接時間でも自分の良さや強みを伝えることができると思います。伝えたいことを明確にすることも大切です。想定外の質問をされても焦らず、端的に答えることを意識しましょう。また悩んだ時は一人で考え込まず、親やゼミの教授、先輩、友人など、周りの人に相談すると良いでしょう。

就職活動は自分の人生を真剣に考える良い機会ですので、意思を明確に持ち、最後まで諦めずに取り組んでほしいです。

私の必需品



小説と赤のリップです。小説は、電車での移動や空いた時間に読むために持ち歩いていました。就職活動と直接関係がないようにみえますが、私にとって最も思い入れのある必需品です。赤のリップは、いつも使うものを薄くつけることで、笑顔に自信を持つようにしていました。私は就職活動中も普段通りの生活を心がけていたので、どちらの品も平常心を保つのに役立ちました。

株式会社みずほフィナンシャルグループ：銀行・信託・証券などフルラインの金融機能を備えたグローバルな総合金融グループ。

就職活動最前線

○就活スケジュールについて

日本経済団体連合会(経団連)の指針により、現3年生(2018年卒)の就職活動スケジュールは現4年生(2017年卒)と同様、企業説明会の解禁は大学3年生の3月、採用面接は4年生の6月からと決定しました。現行のこのスケジュールでは、説明会から面接までの期間が3か月と短すぎ、応募企業や自身の適性への理解不足は入社後のミスマッチにもなりかねません。そうしたマイナス面をカバーするため、キャリアセンターでは学内での企業セミナーや合同企業説明会を随時、企画しています。積極的に参加してください。

現2年生以降の就活スケジュールについては、改めて経団連より発表される予定ですが、経団連の非会員である外資系やIT系企業は、日程の縛りを受けません。そこから発生する自身の活動についての不安や疑問のほか、何から始めていいかわからない方は、一度、キャリアセンターに足を運んでみてください。スタッフ一同、全力でサポートいたします。

学年	3年生			4年生						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
学事	試験	春休み		授業			試験	夏休み	授業	
2018卒 (現3年生)				企業説明会			採用面接		内定	

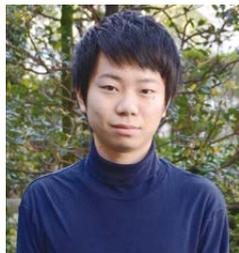
○インターンシップについて

ここ数年、インターンシップを1、2月に実施する企業が増えています。優秀な学生と早期に接触し、自社の採用選考への応募に繋げることを目的とする企業もありますので、興味のある企業のインターンシップには積極的に参加してください。中には1・2年次から参加できるものもあります。1・2年次を対象にしたインターンシップについては、キャリアセンター掲示板、KONECOのお知らせ等に掲示します。

●4年生(2017年3月卒業見込)の主な内定先(2016年11月現在)

みずほフィナンシャルグループ 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行
りそな銀行 千葉銀行 横浜銀行 七十七銀行 城南信用金庫 日本生命保険
損害保険ジャパン日本興亜 中央労働金庫 日本郵政グループ エバラ食品工業
キッコーマン ハウス食品 エスビー食品 山崎製パン 東ハト
日本ハムグループ UHA味覚糖 三菱食品 三井食品 伊藤忠食品
大和ハウス工業 住友林業 積水ハウス アイリスオーヤマ 新潮社 凸版印刷
大日本住友製薬 久光製薬 明治グループ 美和ロック リコー 日立製作所
日本電気(NEC) NTT東日本 富士通 トヨタ自動車 JRR東日本
東京急行電鉄 東京メトロ 全日本空輸 日本航空 JALスカイ
ANAエアポートサービス 日本出版販売 三越伊勢丹
ファーストリテイリング テレビ新広島 ヤフー 楽天 博報堂プロダクツ
朝日広告社 近畿日本ツーリスト エイチ・アイ・エス JTB首都圏
三井不動産ホテルマネジメント ナムコ 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
ノバレーゼ 厚生労働省 東京国税局 東京入国管理局 裁判所事務官
東京消防庁 警視庁 東京都庁 千葉県庁 神奈川県庁 渋谷区役所 他

文学部国文学科4年
山頭 康太さん



採用先：神奈川県立高等学校

教員採用試験に合格するために絶対に必要なことは、人との繋がりが多かったと思います。自治体には、それぞれ目指す教育のあり方や選考形式があり、出題傾向も異なりますから、早くから正しい情報を得ることが必須です。私は定期的に参加した勉強会で知り合った諸先輩方から、多くのことを学びました。幸いなことに神奈川県内の現役教員として活躍する先輩もいらっしゃり、ご指導、ご助言によって、万全の状態と臨むことができました。

2次試験対策も重要です。特に面接、模擬授業、集団協議の準備には共に学ぶ仲間の協力、そして互いに切磋琢磨することが必要です。私は、先生や仲間に見てもらったことはもとより、仲間の姿勢から多くのことを学びました。教員採用試験に合格することができたのは、共に学ぶ仲間から多くの刺激を得られたことによるところが大きいと思います。

「絶対に教師になる」という意思を持ち続け、皆で合格を目指しましょう。

私の必需品



自作単語帳とスマートフォンです。試験勉強は時間がいくらあっても足りません。自作単語帳は、ちょっとした空き時間にも取り出して、何度も繰り返し見ていました。スマートフォンは勉強管理に使用しました。徹底的に予定を立て、毎日の勉強時間を計ったりその日の内容を記録することで、自分の努力が可視化できるようになり、自信を持って試験に臨むことができました。

神奈川県立高等学校：「心ふれあう しなやかな 人づくり」の指針に基づき、学校教育を行っている。

経済学部経済学科4年
原 悠惟さん



採用先：上田市役所（長野県）

私が受験中に大切にしていたことをお伝えします。まず筆記試験で大切なのは「時間配分と取捨選択」です。筆記試験は満点を取る必要はありませんし、出題範囲も広く、時間制限もあります。そこで勉強時から「5分考えても分からない問題は粘らない」というルールを決めていました。試験本番でも、分からない・知らない問題は割り切ることが大切です。

次に面接試験で大切なのは「日頃から様々な人との会話を大切にすること」です。志望動機や自己PR、自治体研究の準備は不可欠です。しかし面接は志望動機だけでは合格できません。面接官との会話を通し、自分の思いや考えを伝えることが重要です。日頃から、特に年上の方に考えを伝える練習をしておくといいと思います。

公務員試験を一人の力で乗り切るとは困難です。つらい・苦しい・分からない等、様々な問題に直面します。そんな時は、家族や友人等の力を借りて自分をコントロールしながら最後までやり遂げてください。

私の必需品



手帳サイズの暗記ノートと腕時計です。ノートは、移動時間等の隙間時間を有効活用するために、筆記試験において暗記すべき知識を書き込んで、繰り返し使用していました。腕時計は、祖父のお下がりで、公務員試験の筆記試験では時間配分がとても重要となるため、自習の時から自分の中に問題を解く時間感覚を身に付けるために、本番で使用する物を常に身に付けていました。

上田市役所：上田市は高い晴天率と豊かな自然が魅力。健幸都市を目指す長野県東部の中核都市。

イベント情報

(詳細はキャリアセンター HP・掲示板等で確認してください)

①「第4回就職ガイダンス」※マナー講座も行います。

●3年生・修士1年生対象	会場：記念講堂
【仏教・経済】	1/27(金) 13時～16時10分
【文・GMS・医療健康科】	1/30(月) 13時～16時10分
【法・経営・大学院】	1/31(火) 13時～16時10分

②「学内合同企業説明会」

●3年生・修士1年生対象	会場：9号館
第1回合同企業説明会	3/9(木)・10(金)・13(月)・14(火)
(4日間で440社予定)	

③「しごと研究講座」「企業セミナー」

企業の方がそれぞれの業種、職種について説明を行う「しごと研究講座」、3月からは採用に関する説明を行う「企業セミナー」を開催します。

●主に3年生・修士1年生対象 (1・2年生も参加可)	●3年生・修士1年生対象
しごと研究講座	企業セミナー
2月～	3月～

キャリアセンターからのお知らせ

3年生対象の第3回就職ガイダンス(11月8日(火)～10日(木)開催)で、「Career Hand Book 2018」を配布しました。就活ノートとして、本番でも役立つ情報を掲載しています。

就職活動中は、スケジュールやID・パスワードの管理が大変です。黒いリングのみの仕様なので、ダイアリーとしても好評です。是非、ご活用ください。



合同企業説明会の様子

Career HandBook 2018



世界を知ろう！ 国際センター

国際交流協定校 キーンズランド大学 来日プログラム (KOMSTUDY)

今回で28回目を数える来日プログラムは、協定校のオーストラリア・キーンズランド大学から14人の留学生を迎え、11月25日から約3週間実施されました。



開講式・歓迎パーティ

日本語授業を中心に構成された本プログラムは、授業の他にも坐禅や茶道、書道、空手など日本の伝統文化を体験する実習や研修旅行など内容が盛りだくさんです。なかでも、大学の

ボランティア学生による「会話実習」は、同世代の文化や言葉を学びながら、お互いの距離をグッと縮める絶好の機会です。国際交流の場として両校の学生にとっても好評でした。

学生の外国や異文化に対する関心の高さは国籍を問わず共通しており、両校の学生が言葉の壁を越えた体験を共にすることは、まさに本プログラムの醍醐味と言えます。今年度もその成果が十分に果たせたと思います。

このプログラムの実施にあたり、留学生たちを温かく受け入れてくださったホストファミリーの皆さま、また多大なるご理解とご協力をいただいた関係者各位に深く感謝いたします。また、長期間にわたり献身的に留学生と行動をともにしてくれたボランティア学生に改めて感謝するとともに、両校の学生の今後の活躍に大いに期待したいと思います。

グローバルサロン

国際センターでは、深沢校舎2階にグローバルサロンを設置しています。協定校からの来日交換留学生とさまざまな話題で直接会話することで、各国の言語や文化に触れることができます。

これまでに、5月はアンナさん（オーストラリア・帰国）、6月はハンターさん・チャンスさん（アメリカ）、7月は李さん（韓国）、10月はクリスさん（オーストラリア）、11月はローラさん（オーストラリア）、12月はジョナサンさん（アメリカ）が担当しました。毎回、参加した学生からは大好評で、回を追う毎に参加者が増えています。

これからも定期的にも実施していく予定ですので、興味がある方はぜひご参加ください。開催日程等、詳細はKONECOでお知らせしています。



アンナさんが担当したときの様子

海外研修・留学フェア

昨年9月28日（水）・29日（木）、駒沢キャンパス記念講堂にて海外研修・留学フェア2016を開催しました。両日ともに留学やボランティア活動、課外講座など、さまざまな分野のブースやイベントがあり、会場に足を運んだ約200人の学生の積極的な参加が印象的でした。

また、交換留学生による協定校紹介や、交換留学生とのアフタヌーンティなど、本学学生と交換留学生が直接交流を図ることができるイベントも行い、大盛況の内に終了しました。

次年度も実施予定ですので、グローバルな人材を目指す皆さんはぜひご参加ください。



**本学初
イベント**

**「学生が選ぶベスト・
ティーチング賞」を実施**

学内のあちこちで「BTA」というロゴや、刺激的なポスターにお気づきになった方も多いのではないのでしょうか？これらは学生FDスタッフによる、「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」の告知活動の一環です。

学生FDスタッフとは、学生による学生目線の教育改善を目指して、各学部生や教職員とともに活動する学生ボランティア組織です。

FDとは、Faculty Development（ファカルティ・ディベロップメント）のことで、大学の授業改革のための組織的な取り組み方法を指します。これまで授業アンケート、公開授業、FD研修会などを実施してきましたが、さらに発展させるべく学生の協力が必要となりました。昨年9月



結成式

が行われます。選ばれた先生方の授賞式は2月1日(水)です。企画・運営・広報を行う学生FDスタッフたちの今後の活躍に期待しています。
(教務部)



広報ポスター

20日(火)に募集説明会を開催し、10月17日(月)に13人の学生を迎えて結成式を開催しました。

ベスト・ティーチング賞は、1月中旬ごろ受賞者の発表

経済学部の姉齒曉ゼミが「佐渡市羽茂大崎集落活性化事業」に採択

姉齒ゼミでは、新潟県から佐渡市羽茂大崎の集落活性化事業の委託を受け、活動を行っています。県の内外で過去に取り組まれてきた活性化策の検証結果から、私たちは「住民の暮らしの向上」を第一に考え、今ある村の資源を活かし、住民が主体的に取り組める提案を目標に据えることにしました。



現地調査の様子

2度にわたる現地調査では、住民の方々が自分たちの暮らしを今一度見直し、構築し直すための集落マップやHPを作成しました。また、今は廃棄されている「そば殻」を村の資源としてお茶にする試みを提案し、試飲調査も行いました。学部の壁を超えて医療健康科学部の岡田先生にそば殻の浸出成分の簡易検査をご指導いただいたことは、総合大学に学ぶ楽しさを実感できた点です。



新潟県庁での中間報告の様子

この活動を通じて、この地域に生き生きと暮らす人にお会いし、「限界集落」と表現することはそぐわないと感じますし、「都市」・「地方」と分けることにも恥ずかしさを覚えました。3月の最終報告に向けて佐渡市役所や集落の皆さんと活動を続けていきます。

(経済学部商学科4年 大曾根 美穂)

第2回 学生シンポジウムを開催

経済学部ゼミナール連合会

経済学部ゼミナール連合会は11月20日に「第2回学生シンポジウム」を開催いたしました。学生シンポジウムは駒澤大学の全学部を対象とした討論会です。例えば1つの社会問題に関して議論するとしても、企業や経済の視点で見るのか、それとも政治や法の立場から考えるのか、また文化や地域の観点から捉えるのか、といったように、多様な視点から考察することができ、それを実現したものがこの学生シンポジウムなのです。

参加された方々からは「様々な学部の方との討論は刺激的だった」との感想を多くいただきました。今後は、こうした意見を各ゼミ等で持ち帰り、皆で学問研究をさらに進めていければと思います。



今年度の学生シンポジウムは、前回の成功を経て、学校公認のイベントとしてさらに新しい学部やゼミを仲間に加え、19ゼミ、2サークルの総勢約200人も学生の参加していただくことができました。来年度以降も、参加する学部と学生数をさらに増やし、こうした取り組みを大学全体に広げていきたいと思っています。



参加ゼミ・サークル一覧

- 仏教学部
Nirvāṇa

- 経済学部
明石ゼミ、姉齒ゼミ、江口ゼミ
小西ゼミ、増田ゼミ、中津ゼミ
長山ゼミ、百田ゼミ、深見ゼミ
福島ゼミ、堀内ゼミ、宮田ゼミ

- 法学部
浦田ゼミ、富崎ゼミ、山崎ゼミ

- 経営学部
鹿嶋ゼミ、中野ゼミ

- GMS学部
テヅカゼミ、山口ゼミ

- ボランティアサークル
STUDY FOR TWO

他学部のゼミから寄せられた声

鹿嶋ゼミ (経営学部)

様々な学部から学生が参加しているため、想定外の質問が数多く飛んできて返答するのに苦戦しましたが、臨機応変に答える力がつきました。また大勢の前で発表する機会もめったにないので、話し方やレジュメの形式などのプレゼンテーション能力をつけるいい機会にもなりました。

山崎ゼミ (法学部)

普段のゼミでは大勢の人の前に立って発表する機会がないので、プレゼンの面でもとても良い経験をさせていただきました。回数を重ねることで、より一層議論の盛り上がる、学生のための行事になっていくと思うので期待しています。

山口ゼミ (GMS学部)

他学部でありながらこのようなシンポジウムに参加させていただき、普段とは違う環境の中で様々な研究をお聞きすることができ新鮮でした。この貴重な機会が得たものを活かし、今後の研究をより良いものにしていきたいと思います。

※GMS学部: グローバル・メディア・スタディーズ学部

日本全国、
世界からも学生が集う駒大。
故郷のいろんなことを
アピールしていただきます。

お国自慢

第2回



文学部地理学科
地域文化研究専攻2年
佐藤 雅也
出身高校：
花巻南高校出身

今回のお国自慢

岩手県



〈岩手県〉ってこんなところ

私の出身地である岩手県は北東北の太平洋側に位置し、面積は北海道に次ぎ全国2位・本州1位です。県西部には奥羽山脈がそびえ、その周りには高原が広がり、畜産が行われています。県東部には広大な太平洋があり、沿岸部には漁業に適したリアス式海岸が発達しています。この広大な土地と豊かな自然によって育まれた肉や魚、野菜はどれも栄養満点で、なおかつ最高に美味しいんです！

秋から冬には、サンマやサケ、カキやアワビなど、書ききれないほどの海産物で溢れています。内陸部では、前沢牛やいわて短角牛、雫石牛といったブランド牛を中心とした畜産業も盛んです。また昨秋には新ブランド米『銀河のしずく』が発売され、学内でおにぎりを配るイベントも行われました。大きい粒で粘りが程よく、かるやかな食感ですよ。



岩手県PRキャラクター
そばっち
©わんこきょうだい

佐藤さんのおすすめ

食べ物

『中村屋の三陸海宝漬』

三陸で獲れたアワビ、イクラ、メカブを醤油漬けにしたもの。お取り寄せもできます。



名物

『わんこそば』

皆さんご存知のわんこそばです。私はまだ食べたことがありません。



観光地

『安比高原スキー場』

今の季節にぴったりの、世界的に人気のスキー場です。



これを岩手弁!

【じゃじゃ!】

驚いたときに使う感嘆詞。朝ドラで「じゃじゃ!」が流行りましたが、盛岡などの内陸では「じゃじゃ!」といいます。

MySeminar 私のゼミ vol.141

グローバル・メディア・スタディーズ学部
平井 辰典 ゼミ

グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科2年 田中 響

グローバル・メディア学科平井ゼミでは、現在4年生8人、3年生25人と2年生22人が所属しています。このゼミは2016年度にできたばかりですが、ゼミの雰囲気はととてもよく、研究に励みやすい環境です。

ゼミでは主に新しいコンテンツの研究をしており、新しい音楽や映像との関わり方、そして扱い方などの、幅広い分野のコンテンツへの理解を深めることを目的として活動しています。そのため最終目的は、自分たちでよりよいコンテンツとの関わり方を考え、自分でアイデアを出し、新しいものを作り上げることです。

最初はコンテンツをよりよく扱えるようになるように、パソコンを使ってプログラミングの基礎を学びます。平井先生がプログラミングについて一から教えてください、私たちがつまづいたときには先生が親身に解決の手助けをしてくださいます。プログラミングを学んだ上で、次に私たちは自分が研究してみたい研究アイデアを考え、それを提案し、実装します。そして各自の研究の発表会



を行い、様々な意見交換が行われます。こうして切磋琢磨し合い、よりよい研究へと近づけていきます。

まだできたばかりのゼミなので、これから私たちが何かを作り上げていくと考えると楽しみです。同様に責任感もあります。一期生の私たちは、研究をしていくと同時にゼミを先生と一緒に作り上げていくという目標もあります。私たちが後輩になにかを残していけるように日々頑張っていきたいです。

新刊紹介

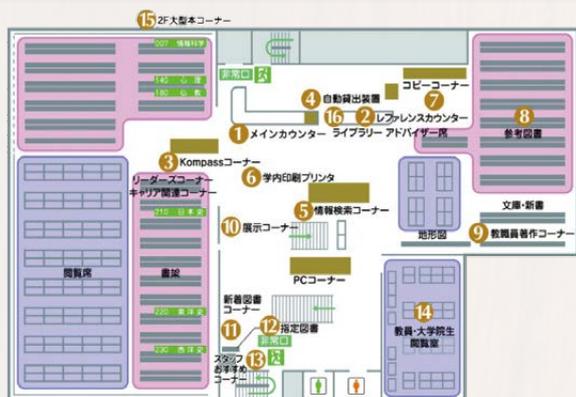
2016年(平成28年)に刊行された本学教職員の著作物(共著、編者、解説、監修含む)の一覧です。これらは、図書館2階の「教職員著作物」コーナーなどですべて閲覧することができます。

是非、一度手にとってご覧ください。

※2016年11月26日までに図書館に配架された書籍を掲載しています。

No.	書名・出版社等	著者・編者
1	近代イギリスの日用品流通：19世紀ロンドンの労働者生活 / 友松憲彦著。-- 見洋書房, 2016.1	友松憲彦
2	封印された古代史の謎大全 / 瀧音能之著。-- 青春出版社, 2016.1	瀧音能之
3	上田秋成研究事典 / 秋成研究会編。-- 笠間書院, 2016.1	近衛典子
4	歴史の謎は透視技術「ミュオグラフィ」で解ける：歴史学を変える科学的アプローチ / 田中宏幸, 大城道則著。-- PHP研究所, 2016.1	大城道則
5	中国外交戦略：その根底にあるもの / 三船恵美著。-- 講談社, 2016.1	三船恵美
6	最澄・空海将来『三教不斉論』の研究 / 藤井淳編；池田将則 [ほか] 著。-- 国書刊行会, 2016.1	藤井淳
7	聖徳太子：実像と伝説の間 / 石井公成著。-- 春秋社, 2016.1	石井公成
8	道元：仏であるがゆえに坐す / 石井清純著。-- 俊成出版社, 2016.1	石井清純
9	上田秋成新考：くせ者の文学 / 近衛典子著。-- ベリかん社, 2016.2	近衛典子
10	継走：50年の櫛：箱根駅伝連続50回出場及び創部53周年記念史。-- 駒澤大学陸上競技部OB会, 2016.2	駒澤大学陸上競技部OB会
11	近世日本の「礼楽」と「修辭」：获生徂徠以後の「接人」の制度構想 / 高山大毅著。-- 東京大学出版会, 2016.2	高山大毅
12	フィリップ・ラーキン：愛と詩の生涯 / 高野正夫著。-- 春風社, 2016.2	高野正夫
13	徂徠と崑崙 / 末木恭彦著。-- 春風社, 2016.2	末木恭彦
14	憲法裁判所の比較研究：フランス・イタリア・スペイン・ベルギーの憲法裁判 / 曾我部真裕, 田近肇編。-- 信山社出版, 2016.2	奥村公輔
15	基礎から学ぶ流通の理論と政策 / 番場博之編著；金度潤 [ほか] 著。-- 新版。-- 八千代出版, 2016.2	番場博之
16	奈良1300年地図帳：ビジュアル版：古代から明治まで、地図と写真で巡る世界遺産。-- 宝島社, 2016.3	瀧音能之
17	ルイ14世期の戦争と芸術：生みだされる王権のイメージ / 佐々木真著。-- 作品社, 2016.3	佐々木真
18	図説フランスの歴史 / 佐々木真著。-- 増補新版。-- 河出書房新社, 2016.3	佐々木真
19	立法手続と権力分立 / 奥村公輔著。-- 信山社, 2016.3	奥村公輔
20	ジョン・ブラウンの屍を越えて：南北戦争とその時代 / 松本昇, 高橋勲, 君塚淳一編著。-- 金星堂, 2016.3	東雄一郎
21	十八世紀ロシア文学の諸相：ロシアと西欧伝統と革新 / 金沢美知子編。-- 水声社, 2016.3	三好俊介

No.	書名・出版社等	著者・編者
22	満蒙開拓青少年義勇軍の旅路：光と闇の満洲 / 旅の文化研究所編。-- 森話社, 2016.4	高媛
23	わかりやすいマーケティング・コミュニケーションと広告 / 石崎徹編著；五十嵐正毅 [ほか] 著。-- 八千代出版, 2016.4	中野香織
24	現代国際金融：構図と解明 / 奥田宏司, 代田純, 櫻井公人編。-- 第3版。-- 法律文化社, 2016.4	代田純
25	世界の英語ができるまで / 唐澤一友著。-- 亜紀書房, 2016.4	唐澤一友
26	テキストブック租税法 / 水野忠恒編；赤松晃 [ほか] 執筆。-- 中央経済社, 2016.4	赤松晃
27	国際法への誘い / 飯田順三, 王志安著。-- 第2版。-- 八千代出版, 2016.4	王志安
28	法思想の水脈 = The undercurrent of legal thought / 森村進編；宇佐美誠 [ほか] 執筆。-- 法律文化社, 2016.4	高橋洋城
29	琉球諸語と古代日本語：日琉祖語の再建にむけて = Ryukyuan and premodern Japanese: toward the reconstruction of proto-Japanese / Ryukyuan / 田窪行則, ジョン・ホイットマン, 平子達也編。-- くろしお出版, 2016.4	平子達也
30	大学生に知ってほしい弁護士の仕事 / 田丸大, 畠山慎市著。-- 三恵社, 2016.4	田丸大
31	「禅の語録」導読 / 小川隆著。-- 筑摩書房, 2016.4	小川隆
32	コンパクト財務会計：クイズでつくれる読む力 / 小栗崇資著。-- 中央経済社, 2016.4	小栗崇資
33	異文化間教育のフロンティア / 佐藤郡衛, 横田雅弘, 坪井健編。-- 明石書店, 2016.6	坪井健
34	私の好きなエミリー・ディキンソンの詩 / 新倉俊一編。-- 金星堂, 2016.6	東雄一郎
35	マルクスとエコロジー：資本主義批判としての物質代謝論 / 岩佐茂, 佐々木隆治編著。-- 堀之内出版, 2016.6	明石英人
36	憲法用語の源泉をよむ / 大林啓吾, 見平典編著；鶴沢剛 [ほか] 執筆。-- 三省堂, 2016.7	奥村公輔
37	ウェストファリア史観を脱構築する：歴史記述としての国際関係論 = Deconstructing the Westphalian discourse: international relations as historiography / 山下範久, 安高啓朗, 芝崎厚士編。-- ナカニシヤ出版, 2016.7	芝崎厚士
38	相応部(サンユッタニカーヤ) / 片山一良訳；蘊篇 1, 2。-- 大蔵出版, 2016.8-10	片山一良
39	憲法判例からみる日本：法×政治×歴史×文化 / 山本龍彦, 清水唯一朗, 出口雄一編著。-- 日本評論社, 2016.9	奥村公輔



図書館2階閲覧コーナー Map



喫煙後4分間待って教室へ行こう

産業医 嶋田 守男

2020年のオリンピックおよびパラリンピックに向けて非喫煙者が公共の場で受動喫煙を防ぐための方策が色々と政府などで議論されている。厚生労働省が、病院などの医療機関の建物内や飲食店内を全面禁煙にする案などが示されているが業界団体などからは賛否両論が出ており協議が難航している。

直接的に吸い込む煙を主流煙という。周りの煙を副流煙という。副流煙は主流煙よりニコチン、タール、一酸化炭素、ベンゾピレンおよびアンモニアなどの有害物質が多く含まれており、肺癌などの悪性腫瘍の要因となる。

一般の方は呼出煙という言葉は聞いたことがない人が多いと思う。最近問題になっている煙である。つまりタバコのフィルター部分から口でタバコの煙を肺に吸い込み、肺に吸い込んだ空気を吐き出すときにでてくるほぼ

- 透明な空気のことを呼出煙という。タバコを吸い終わってから大体4分間ぐらいはこの呼出煙が出ていると言われている。呼出煙は副流煙と同じように有害物質が多く主流煙より含まれている。
- そのため、喫煙所で吸った後すくなくとも4分間経過してから、教室に戻れることを喫煙者に強くお願いする。



仏教行事について

高祖降誕会

仏教学部准教授 池上 光洋

「高祖」は仏教各宗の開祖のこと。曹洞宗では道元禪師(1200～1253)の尊称の1つとして用いている。「降誕」は仏



祖がこの世に生まれること。通説によれば、道元禪師は正治2年正月2日(西暦1200年1月26日)、父・久我通具(1171～1227)と母・未詳の子として生を受けた。禪師のご生誕を祝って誕生日に行われる法要が「高祖降誕会」である。

道元禪師は仮名『正法眼蔵』『見仏』巻で、「願生此娑婆国土しきたれり(願ってこの世に生まれてきたのだ)」と示されている。禪師は一体何を願ってこの世に生まれてきたのだろうか。その答えは「見仏」巻を見れば明らかであるが、より重要なことは我々が何を念ってこの世に生まれ、また生きているのか、ということであろう。

名聞利養に明け暮れ、三毒に翻弄されて生きるのが凡夫の悲しい性であるが、はたしてそれだけでよいのであろうか。高祖降誕会に因んで、改めて自らの足元を見つめ直したい。

※1 旧説では父・久我通親(1147～1202/通具の父親)、母・藤原基房(1145～1230)の娘。

※2 貪(貪り)、瞋(怒り)、痴(根源的愚かさ)。

涅槃会

仏教学部講師 山口 弘江

お釈迦様の命日とされる2月15日、本学ではお寺の行事しながらに、厳かな雰囲気の中、涅槃会の法要が営まれます。

涅槃の原語であるnirvānaとは、元来「吹き消すこと」を表しています。したがって、涅槃とは、今日考えられているような「死ぬ」という意味に限定されるものではなく、われわれが抱える悩みや苦しみといった煩惱をすべて滅した、清らかで静寂な境地を指したもののです。涅槃に対する解釈には様々なものがありますが、『大般涅槃経』というお経では、大涅槃には法身・般若・解脱の3つの徳が備わっていると説明します。法身とは、法の身体、つまり真理そのものをからだとするありようです。般若とは、さとり智慧のことです。ここでいう智慧とは、一般的な知恵とは異なり、正しくものごとを見極める心の働きを意味します。そして解脱とは、悩みや苦しから解放されて自由となることをいいます。

涅槃会当日は、壇上に涅槃図といわれるお釈迦様が亡くなった場面が描かれた大きな絵を掲げ、法要終了後には参加者でお焼香をしています。お釈迦様の涅槃の徳に想いはせつつ、みなさんもぜひご参列ください。



■教務部からのお知らせ

平成28年度後期・通年科目定期試験の日程

定期試験 (集中試験)	1月16日(月)・17日(火)・18日(水)
定期試験	1月19日(木)・20日(金)・23日(月)～26日(木) ※26日は土曜日授業の振替試験

※定期試験はすべて駒沢キャンパスで実施します。

※1月16日・17日・18日は専門教育科目の集中試験です(専門教育科目試験は、履修者数が多いなどの理由で授業日・時間が異なる曜日・時間で実施されます)。

※試験会場・試験時間は授業実施時と異なりますので注意してください。

詳細は、KONECO(連絡事項・カレンダー)で必ず確認してください。

試験には学生証を忘れずに!

履修要項・学生証裏面貼付シールの配布

3月30日(木)・31日(金) 9:00～17:00
教務部臨時窓口

※なお、仏教学部の新3年次生は学部による学科振り分け説明会がありますので、KONECO、仏教学部ホームページで日時・場所等を確認してください。

平成29(2017)年度履修登録等オリエンテーションを開催

3月30日・31日に履修登録のオリエンテーションを開催します。

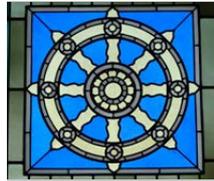
履修要項を受け取ってから参加してください。

オリエンテーションに参加して、履修登録のスケジュールを把握できるようにしましょう。

▶ KOMAZAWA NEWS

▶ 文科省の「私立大学 研究ブランディング事業」に選定

文部科学省の平成28年度「私立大学研究ブランディング事業」タイプB(世界展開型)に選定されました。今後支援対象校として、「『禅と心』研究の学際的国際的拠点づくりとブランド化事業」に取り組みます。事業期間は5年間です。



▶ 宮田惟史准教授が 「経済理論学会奨励賞」受賞

経済学部の宮田惟史准教授が、10月15日(土)・16日(日)に開催された「第64回経済理論学会全国大会」で、経済理論学会奨励賞を受賞しました。受賞作は、「マルクス信用論の課題と展開」および「『資本論』第3部第3篇草稿の課題と意義」です。



▶ 北斗病院へ感謝状を贈呈

10月28日(金)に、本学より社会医療法人北斗 北斗病院へ感謝状を贈呈しました。文部科学省採択事業「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の取り組み実施にあたり、医療健康科学研究科に医用画像提供等の協力をいただいています。



▶ 深沢キャンパス洋館が 東京消防庁から表彰

11月9日(水)に、深沢キャンパス洋館が東京消防庁より「優良防火対象物防火安全維持功労」の表彰を受けました。これは、日頃から防火安全性の維持向上に努め、建物利用者の人命安全確保に積極的に寄与した事業所に贈られるものです。



▶ 寺子屋子ども大学が 「やまがた公益大賞」を受賞

仏教学部の藤井淳准教授が事務局長を務める団体「寺子屋子ども大学」が、山形県より「やまがた公益大賞」を受賞しました。被災による福島からの避難世帯の学習支援や、山形県内の生徒も対象とした特別授業を実施していることなどが評価されたものです。



▶ 高山大毅講師が 「サントリー学芸賞」受賞

文学部国文学科の高山大毅講師が「第38回サントリー学芸賞(思想・歴史部門)」を受賞し、12月12日(月)に東京で贈呈式が行われました。受賞作は、『近世日本の「礼楽」と「修辞」——荻生徂徠以後の「接人」の制度構想』です。



▶ 長谷部八郎教授を次期学長に選任

本法人は、現学長の任期満了に伴う学長選挙で、最終候補者として選出した長谷部八郎仏教学部教授を新学長に選任しました。11月24日(木)に開催した理事会で承認されたもので、就任は2017年4月1日付けとなります。任期は4年間です。



▶ 料理人の陳建一氏が 学食で記念メニュー販売

12月6日(火)に、学生食堂を運営する銀座スエヒロカフェテリアサービス(株)の本学出店5周年を記念して、中華の料理人として有名な陳建一氏(四川飯店)を迎え、「特製ミニ麻婆豆腐丼」を600食限定で販売するイベントを開催しました。



天文愛好会

昨年11月、スーパームーンが国内でも話題となりました。今回のサークル訪問では、天体観測を日常的に行う「天文愛好会」を紹介します。

天文愛好会は41年もの歴史を誇る学校公認団体です。現在会員は全体で80人。男女比はほぼ半々で、一学年に30人ほど所属しているそうです。主な活動としては月に一度、7号館の屋上にある天文ドームで観測会を行います。たまに駒沢オリンピック公園で観測することもあるそうです。その他、年に2回埼玉県や群馬県で合宿を行ったり、昨年度からはオータムフェスティバルで自作のプラネタリウムを上映したりと、近年積極的に活動しています。

活動のやりがいを尋ねると「普段何気なく見上げている



プラスチックのボールに、星図通りに穴をあけた天球

空で星座が分かるようになったことは、大きな財産だと思っています。また、合宿で街灯のまったくない真っ暗な状態の中で望遠鏡を覗いた時、とてもきれいにオリオン座が見えました。この時、観測の面白さを感じました



何週間もかけて作ったダンボールドーム

ね」と語ってくれたのは、前会長の小沢さん。天文愛好会の魅力については「星が好き」という気持ちさえあれば、まったく知識がなくても星の世界に浸れます。お金を払って天文台に行かなくても、星は身近なところで見ることができんです。また、会員同士の仲もいいので和気あいあいと活動していますよ」と話してくださいました。

冬は空気が澄んでいるため、一年の中で最も星がきれいに見える時期だそうです。最近では星座表のアプリもあり、誰でも簡単に星座を確認できます。まずは目視で今夜の空を観察してみたいかがでしょうか。

(学生記者 駒大スポーツ所属
文学部国文学科2年 齋藤 綾乃)

公式twitter : https://twitter.com/kta_astro
公式サイト : <https://kta40thx.wordpress.com/>

サークルの活動予定

声援歓迎

体育会

●弓道部

●平成29年度新人戦・女子新人戦 / 3月4日(土) ~ 19日(日) / 未定

●硬式テニス部

●平成29年度関東学生新進テニス選手権大会 / ~ 1日19日(木) / 各大学テニスコート

●サッカー部

●平成28年度東京都社会人サッカーチャンピオンシップ(東京カップ) ~ 2月19日(日) / あきる野市民運動公園 他

●自動車部

●新人戦 / 2月下旬 / 未定

文化部

●合唱団

●深沢文化祭 / 3月5日(日) / 深沢区民センターホール

任意団体

●アカペラサークル鳴声刺心

●2017アカペラサークル鳴声刺心冬ライブ / 2月17日(金) / 玉川区民会館

駒大生の輝く姿をぜひご覧ください!!

こちらにもアクセスしてください!

駒澤大学ホームページ

<https://www.komazawa-u.ac.jp/>

Facebook [komazawa.university](https://www.facebook.com/komazawa.university)

Twitter [@komazawa_univer](https://twitter.com/komazawa_univer)

YouTube [komazawauniv](https://www.youtube.com/komazawauniv)

駒澤大学高等学校が「全国高校サッカー選手権大会」に2年連続出場、ベスト8に

駒澤大学高等学校サッカー部が「平成28年度第95回全国高等学校サッカー選手権大会」に出場しました。本大会への出場は、2年連続3回目となります。

1月2日(月)に駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場にて、高松商業高等学校(香川)と初戦を戦い、1 -

0で勝利しました。続く3回戦では山梨学院高等学校(山梨)を相手に4 - 0と快勝し、ベスト8に進出しました。初のベスト4をかけた準々決勝は1月5日(木)にフクダ電子アリーナにて、佐野日大高等学校(栃木)と対戦。後半22分に先制したものの、1 - 2で惜敗し、2年連続のベスト8となりました。



アイススケート部

リーグ戦2部優勝で入替戦

アイススケート部が、「平成28年度関東大学アイスホッケーリーグ戦 デビジョンⅡ（2部）」で優勝し、漆田椋選手（政治3）が、最優秀選手賞と最多ポイント賞を受賞しました。

これにより初めて1部との入替戦に臨み、立教大学と対戦しました。総シュート数では相手を上回り、果敢に挑戦したものの、格上チームの経験の多さに1対12で敗れました。

リンク借用の都合から毎週深夜に練習を重ねてきた部員にとって、終盤得られた1点は努力の結晶です。同部では、精神を鍛え、感謝の気持ちを持つべく、構内での清掃活動にも取り組んでいます。



ボクシング部

国民体育大会・全国大会で活躍

10月に岩手県で開催された「第71回国民体育大会」のボクシング競技（成年男子）で、部員11人と卒業生2人が各県代表として出場しました。沖島輝選手（福岡県／経済3）がライトウェルター級で優勝、杉山広将選手（岐阜県／経営1）がライトフライ級で準優勝するなど、9人が優秀な成績を収めました。

また11月に愛媛県で開催された「第86回全日本ボクシング選手権大会」で、沖島輝選手がライトウェルター級で優勝、南出仁選手（商3）がバンタム級で準優勝、田中亮明選手（2016年卒）がフライ級で優勝（優秀賞、MVPを受賞）しました。



サークルの活動報告



少林寺拳法部

11月6日（日）に開催された「第50回少林寺拳法全日本学生大会」で、大沼一基選手（歴史3）が男子単独有段の部1位（優勝）に輝きました。また、宮本尚弥選手（法律1）・佐藤舞由可選手（心理1）が男女白緑帯の部で5位（入賞）となりました。



空手道部

11月3日（木・祝）に開催された「第27回関東学生空手体重別選手権大会」で杉本りさ選手（心理1）が女子68kg超級で優勝するなど、5人の選手が活躍しました。また11月19日（土）・20日（日）に開催された「第60回全日本大学空手道選手権大会」で、男子団体型が第6位、女子団体型が第3位となりました。



サッカー部

今年度で開催された「第90回関東大学サッカーリーグ戦（1部）」で、吉岡雅和選手（市場戦略4）がベストイレブンに選ばれました。



ボウリング部

9月から10月にかけて開催された「第55回関東学生秋季レギュラーリーグ戦」で2部リーグ優勝し、1部リーグへの昇格を果たしました。



書道部

11月10日（木）～13日（日）にかけて、東京芸術劇場5Fギャラリー1・2で「第50回駒澤大学書道部書作展」を開催しました。



吹奏楽部

12月18日（日）に、駒沢キャンパスの記念講堂で「第52回定期演奏会」を開催しました。トルコ行進曲やロンドンリーの歌、歌劇「トスカ」などの演目が演奏されました。



管弦楽団

11月12日（土）に、日経ホールで「第39回定期演奏会」を開催しました。ヴェルディ、チャイコフスキー、ブラームスなどの演目が演奏されました。



硬式野球部

次期監督に大倉孝一氏の就任が決定

硬式野球部・西村 亮 監督の任期満了による退任に伴い、次期監督に本学OBで硬式野球女子日本代表監督を務めた大倉孝一氏の就任が決定しました。

広島東洋カープ 新井貴浩選手に駒澤大学栄誉賞授与

本学は、昨年プロ野球選手として2000本安打、300本塁打を達成し、広島東洋カープの25年ぶりのリーグ優勝に貢献した新井貴浩選手（1999年3月法学部卒）に『駒澤大学栄誉賞』を授与しました。

この賞は、本学の卒業生が達成した社会的に賞賛される偉業により、本学学生、教職員及び同窓生に明るい希望を与え、本学の発展、名誉及び信用の向上に寄与したことについて表彰するものです。

表彰状は、11月23日(水)グランドプリンスホテル広島で行われた「新井貴浩選手2000本安打達成記念祝賀会」(駒澤大学同窓会広島県支部、駒澤大学野球部OB会中国支部共催)において、廣瀬良弘学長より記念品とともに贈られました。また、本学同窓会からは、萩野虔一同窓会長より表彰状と記念品が、同窓会広島県支部からは、大しゃもじがそれぞれ授与されました。



駒澤大学での4年間は私の精神的な土台となっています。このような賞をいただき、大変光栄です。この賞は、私がいただいたというよりも、多くの方々のお力によりいただいたものと実感しています。今までお世話になった多くの方々に感謝しています。2000本安打はあくまでも通過点です。来シーズンも常に懸命に取り組み、チームの日本一を目指します。

《新井選手 受賞コメント》

駒澤大学での4年間は私の精神的な土台となっています。このような賞をいただき、大変光栄です。この賞は、私がいただいたというよりも、多くの方々のお力によりいただいたものと実感しています。今までお世話になった多くの方々に感謝しています。2000本安打はあくまでも通過点です。来シーズンも常に懸命に取り組み、チームの日本一を目指します。



左から萩野同窓会長、新井選手、廣瀬学長



第93回東京箱根間往復大学駅伝競走 51回連続完走 総合9位

1月2日(月)・3日(火)に開催された第93回箱根駅伝(東京・大手町～箱根・芦ノ湖往復、全10区間217.1km)において、本学陸上競技部は11時間16分13秒で総合9位となった。

往路は、鶴見中継所で1分差以内に16大学が集中する大混戦のスタート。4区を任されたエースの中谷選手(経済4)が故障明けで順位をおとしたが、5区の大塚選手(経営4)が区間賞となる快走を見せ、第5位でゴールした。復路では6区の箱根路で苦戦し、7区タスキリレー時点で第9位



5区区間賞の大塚選手

に。その後は10位以内のシード権争いを繰り広げる熾烈なレース展開となった。

今大会は10人中6人が箱根初出場という挑戦の年ながら、シードを死守し、51年間繋いできた襷を来年に託す連続完走を果たした。来シーズンの飛躍を期待したい。



10区区間の堀合選手

第93回東京箱根間往復大学駅伝競走記録

総合成績 (217.1km)	往路 (107.5km)	区間賞										
		第1区 (21.3km)	第2区 (23.1km)	第3区 (21.4km)	第4区 (20.9km)	第5区 (20.8km)	第6区 (20.8km)	第7区 (21.3km)	第8区 (21.4km)	第9区 (23.1km)	第10区 (23.0km)	
総合9位 駒澤大学 11:16:13	往路記録 (5) 5:37:46	西山 雄介 (6) 1:04:04 (6) 1:04:04	工藤 有生 (6) 1:08:09 (3) 2:12:13	下 史典 (8) 1:04:33 (5) 3:16:46	中谷 圭佑 (18) 1:08:14 (9) 4:25:00	大塚 祥平 (1) 1:12:46 (5) 5:37:46	復路 (109.6km)	物江 雄利 (18) 1:01:48 (9) 6:39:34	伊勢 翔吾 (12) 1:05:48 (7) 4:45:22	広瀬 匠 (10) 1:07:42 (9) 8:53:04	片西 景 (4) 1:11:08 (8) 10:04:12	堀合 大輔 (6) 1:12:01 (9) 11:16:13

第28回出雲全日本大学選抜駅伝競走で第5位

10月10日(月・祝)、鳥根県出雲市(出雲大社～出雲ドーム 6区間45.1km)で行われた「第28回出雲全日本大学選抜駅伝競走」において、本学陸上競技部は2時間12分20秒でゴールし、第5位となった。



4区下選手から主将5区 浅石選手へ

第28回出雲全日本大学選抜駅伝競走記録

総合成績 (45.1km)	第1区 (8.0km)	第2区 (5.8km)	第3区 (8.5km)	第4区 (6.2km)	第5区 (6.4km)	第6区 (10.2km)
5位 駒澤大学 2:12:20	西山 雄介 (9) 23:39 (9) 23:39	高本 真樹 (6) 17:20 (7) 40:59	工藤 有生 (4) 25:16 (8) 1:06:15	下 史典 (2) 17:39 (5) 1:23:54	浅石 祐史 (8) 18:12 (6) 1:42:06	大塚 祥平 (4) 30:14 (5) 2:12:20

上段(個人順位) タイム
下段(通算順位) タイム

第48回全日本大学駅伝対校選手権大会で第4位

11月6日(日)、名古屋・熱田神宮～伊勢・伊勢神宮(8区間106.8km)で行われた「秩父宮賜杯第48回全日本大学駅伝対校選手権大会」において、本学陸上競技部は5時間17分41秒のタイムで第4位となった。

レース途中、6位まで順位を落としたが、徐々に順位を上げた。今回のレースでは、三大駅伝初出場の紺野選手(歴史3)、中西選手(地理3)、片西選手(地理2)、伊勢選手(現代応用経済2)の活躍が光った。



第4位でゴールする8区 大塚選手

第48回全日本大学駅伝対校選手権大会記録

総合成績 (106.8km)	第1区 (14.6km)	第2区 (13.2km)	第3区 (9.5km)	第4区 (14.0km)	第5区 (11.6km)	第6区 (12.3km)	第7区 (11.9km)	第8区 (19.7km)
4位 駒澤大学 5:17:41	工藤 有生 (3) 43:47 (3) 43:47	西山 雄介 (7) 38:49 (3) 1:22:36	紺野 凌矢 (12) 28:23 (6) 1:50:59	下 史典 (4) 41:13 (5) 2:32:12	中西 亮貴 (8) 35:42 (4) 3:07:54	片西 景 (6) 36:23 (3) 3:44:17	伊勢 翔吾 (6) 35:21 (3) 4:19:38	大塚 祥平 (3) 58:03 (4) 5:17:41

上段(個人順位) タイム
下段(通算順位) タイム